

シラス調査情報(No.1)

令和2年5月28日(木)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵仔稚調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査(水深150mからの鉛直曳き)、ニューストンネットによる仔稚魚採集調査(表層曳き)、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

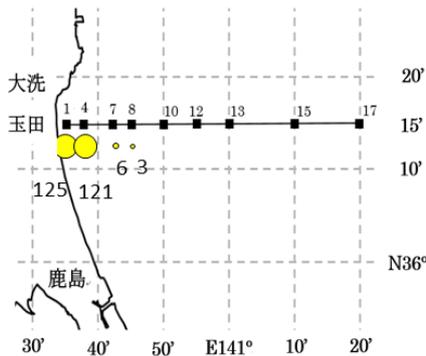


図1 カタクチイワシ卵採集結果

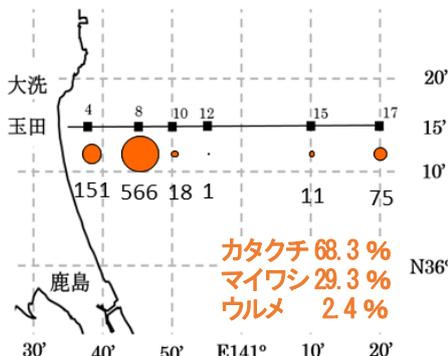


図2 イワシ類仔稚魚採集結果
(マイワシ、ウルメイワシを含む)

- 調査点
(上の数字は地点番号)
- 採集量
(下の数字は採集数)

表1 調査点及び海洋観測結果

調査ライン (北緯36°15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度		140°35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141°00'	10'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		12	24	37	50	117	270	510	770	1000
観測結果	水温(°C) 0m	18.6	18.6	18.5	19.1	19.3	19.2	19.6	19.4	19.2
	10m	17.2	17.8	17.7	18.1	18.7	18.7	19.3	19.1	18.9
	20m	-	16.5	16.9	16.9	18.2	17.2	18.8	18.8	18.5
	30m	-	-	15.5	16.9	18.1	17.0	17.7	18.7	18.2
	50m	-	-	-	-	16.4	16.0	16.6	17.6	17.2
	流向°(10m)	124	17	349	11	1	12	51	124	162
流速Kt(10m)	0.6	0.4	0.3	0.7	1.4	0.8	0.6	0.1	0.5	

【まとめ】

カタクチイワシ卵およびイワシ類仔稚魚は、一調査点あたり平均で卵28個、仔稚魚137尾が採取され、5月の過去5年平均(卵25個、仔稚魚1103尾)と比較して卵は同程度、仔稚魚数は下回りました(図1, 2)。

イワシ類仔稚魚の組成はカタクチイワシ68.3%、マイワシ29.3%、ウルメイワシ2.4%であり、前年のそれぞれ87.3%、8.0%、4.7%と比較して、マイワシの比率が高くなりました。

調査ラインの水温は、表層で18~19°C台、水深50m層で16~17°C台でした。また、潮流は140°35'Eで出逆潮、140°38'~141°00'Eで真潮、141°10'~20'Eで出逆潮が観測されました(表1, 図3)。

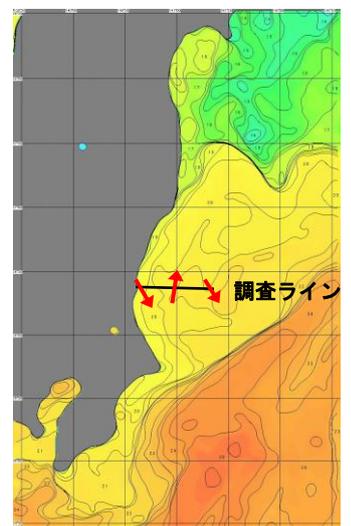


図3 NOAA衛星画像(5/30)